



イラク復興支援群活動報告

18. 1. 29

イラク復興支援群

2029 7002
0549 N=7770

(全) (大) 1/3 1/4 1/5 1/6 1/7 1/8 1/9 1/10 1/11 1/12 1/13 1/14 1/15 1/16 1/17 1/18 1/19 1/20 1/21 1/22 1/23 1/24 1/25 1/26 1/27 1/28 1/29 1/30 1/31 1/32 1/33 1/34 1/35 1/36 1/37 1/38 1/39 1/40 1/41 1/42 1/43 1/44 1/45 1/46 1/47 1/48 1/49 1/50 1/51 1/52 1/53 1/54 1/55 1/56 1/57 1/58 1/59 1/60 1/61 1/62 1/63 1/64 1/65 1/66 1/67 1/68 1/69 1/70 1/71 1/72 1/73 1/74 1/75 1/76 1/77 1/78 1/79 1/80 1/81 1/82 1/83 1/84 1/85 1/86 1/87 1/88 1/89 1/90 1/91 1/92 1/93 1/94 1/95 1/96 1/97 1/98 1/99 1/100

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

↓

① 現在報告の3/3034
 (全) (大) ⇒ 1/3034
 ⇒ 1/3034

② 早く報告の3/3034
 1/3034
 1/3034
 ↓
 1/3034
 1/3034
 1/3034
 ↓
 1/3034

1/3034
 1/3034
 1/3034
 ↓
 1/3034

(10)2 ⇒ 3/3034
 (11)2 ⇒ 3/3034
 ↓
 1/3034

1/3034

○ 1月29日現在の雇用人員

◎ サマーワ主力

- 人員・武器・装具具状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連

◆ 医療

- 衛生支援（サマーワ母子病院技術指導（サマーワ））
- 外務省等との調整

◆ 学校等の公共施設の復旧・整備

- ・ 学校の改修：
 - 10カ所（サマーワ×6、ワルカ、ヒラール、ヒドル×1、ルメイサ）での役務作業
- ・ 道路の改修：
 - 4カ所（サマーワ、ルメイサ、スウェイル、ワルカ）での役務作業
- ・ PHCの改修：
 - 14カ所（サマーワ×6、ヒドル×2、マジット、ダラージ、ルメイサ×2、ワルカ×3）での役務作業
- ・ 給水関連施設の改修：
 - 新ルメイサ浄水場起工式（ルメイサ）
 - 別紙第1「新ルメイサ浄水場起工式」
 - 4カ所（サマーワ×1、ワルカ×1、ルメイサ×1、サマーワルメイサ間×1）での役務作業
- ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 2カ所（サマーワ×2）での役務作業
- ・ 燃料関連施設の改修：
 - 1カ所（サマーワ）での役務作業

○ 1月29日現在の雇用人員

○ 宿営地関連施設の整備

- ・ 宿営地散水
- ・ ゴミ回収 [REDACTED]
- ・ 糞尿くみ取り
- ・ 環境維持作業
- ・ 耐弾施設通信工事
- ・ ヘスコ整理、土のう撤去
- ・ 耐久食料品庫移設

○ 1月29日現在の雇用人員

計790名（累計：396、812名） 細部別表「雇用者」参照

○ その他（特記事項）

- ・ 業支隊長が、治安最高責任者 [REDACTED] と懇談
- 別紙第2「業支隊長、治安最高責任者 [REDACTED] と懇談」
- ・ 政策AD [REDACTED] 支隊長が、POLAD会議参加（バスラ）
- ・ 供与RO浄水機により給水車延べ10両に対し約116t（約25,778人分）が配水された。
- 1月29日まで計約51,241t（約11,386,888人分）配水（4.5ℓ/ℓ/人・日換算）

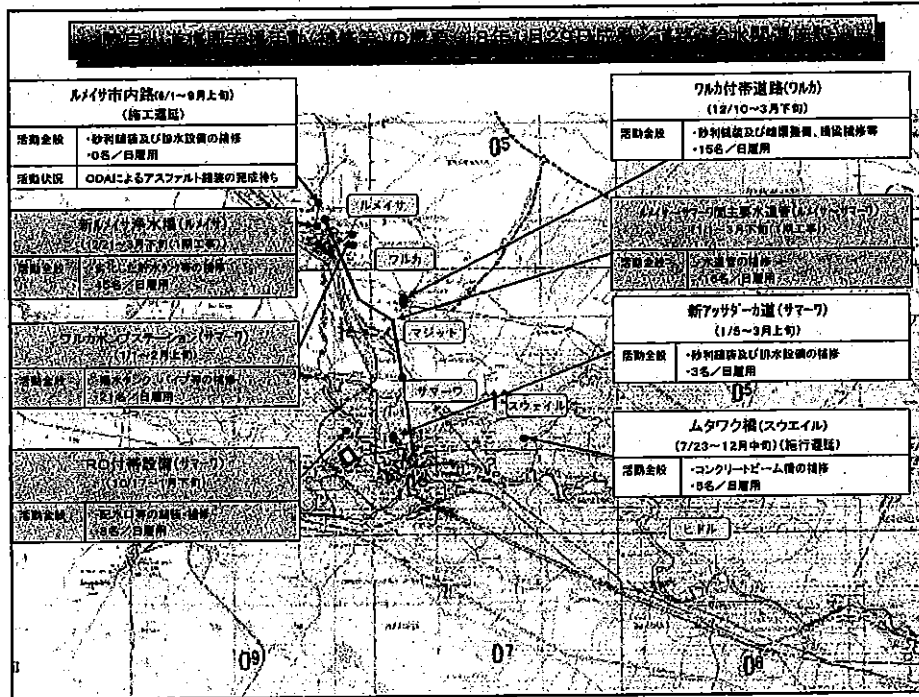
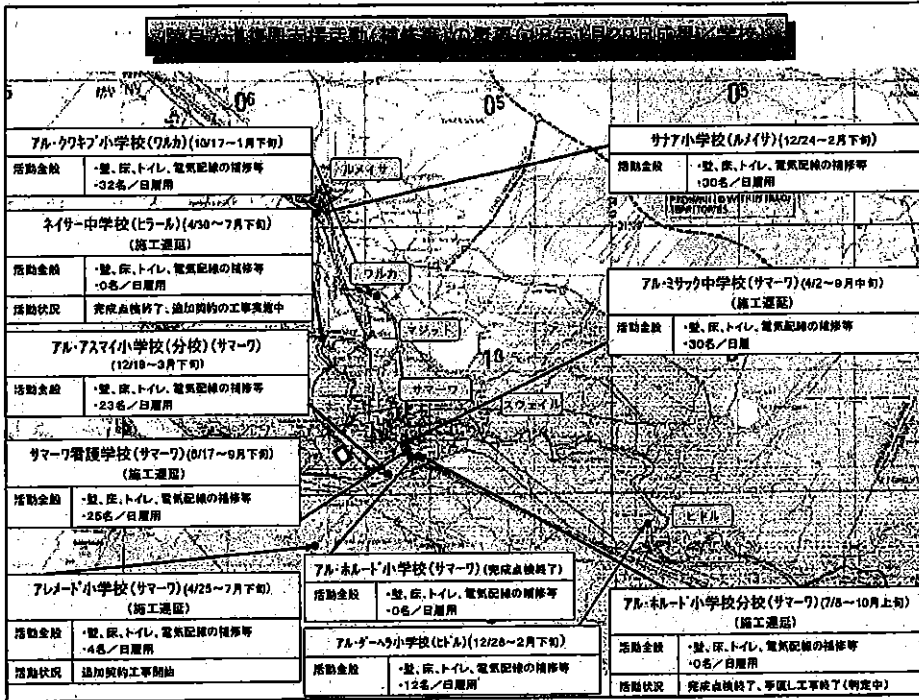
2019年度(2018年10月1日～2019年9月30日)

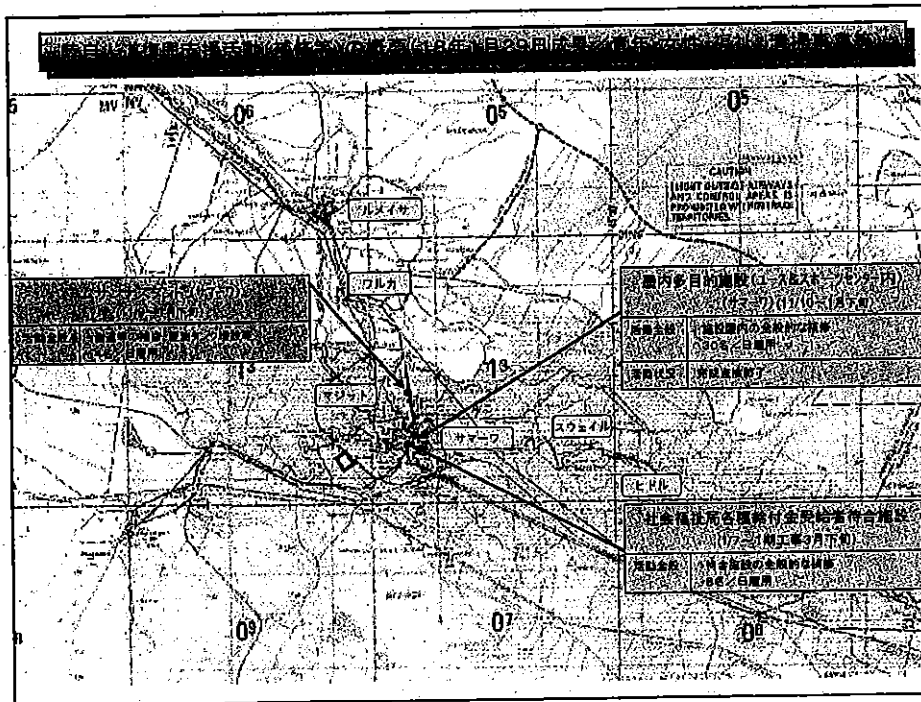
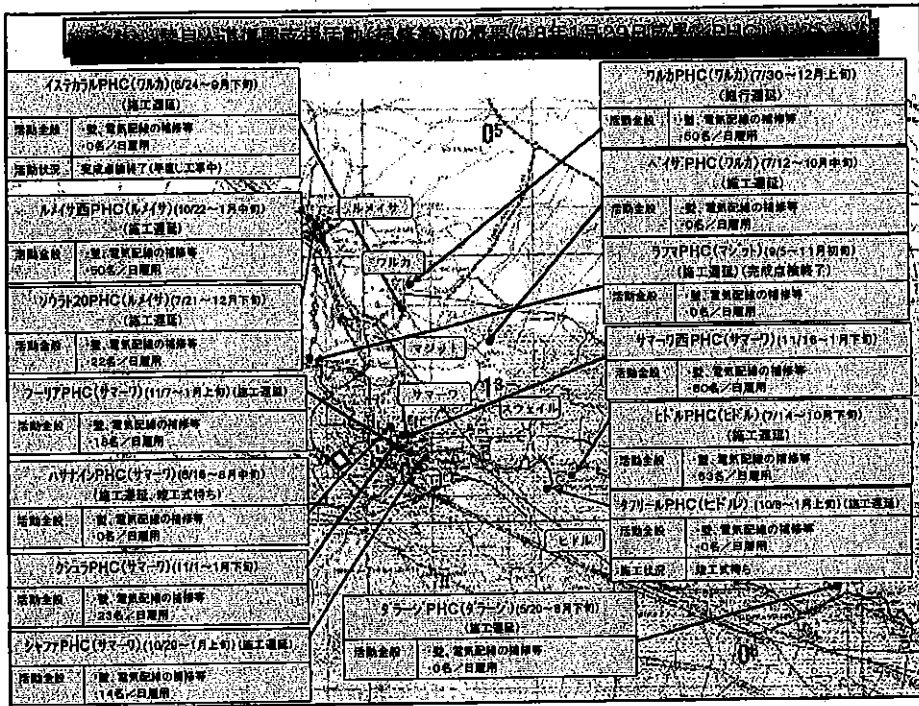
- ◎ クウェート分遣班
 - ・第9次群受入準備
 - ・装備品回収・交付準備
- ◎ バクダッドLO
 - ・連絡調整及び情報収集
- ◎ バスラLO
 - ・情報要求対応及び定例情報収集
 - ・定例会議への出席
 - ・空路輸送調整
 - ・POLAD会議、J会議、トランジション会議及び師団長表彰等調整
- ◎ スミッティLO
 - ・情報要求対応等
 - ・各種業務調整等
 - ・各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館LO
 - ・連絡調整
 - ・情報収集

別表

2019年度(2018年10月1日～2019年9月30日)

区分		人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿営地外役務	医療	300	611	790
	学校修復	156		
	道路補修	23		
	青年・スポーツ関連	38		
	給水関連	90		
	燃料	4		
宿営地内役務	通訳	63	179	
	整備	39		
	給仕	1		
	ゴミ処理	3		
	し尿処理	3		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	24		
	床屋	2		
	弁護士	2		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	8		
耐弾性強化施設補修	20			
コンテナメンテナンス	5			





上段:増人員数
下段:減人員数

人員現況

1月16日(月)

区分	所属人員	サマーワ		クウェート		バックダット		バスラ		キャンプVA		タリル		ドバイ		国外		国内		備考 (備考) 総員の変化及び 増減人員の変化
		増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	増減人員	所在人員	
8次支援隊	481	0	478	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	給水設備 フリフジャン 付き給水 PA(1.30名で)
9次支援隊	481	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	135	135	0	0	348	
8次警務 派遣隊	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	
9次警務 派遣隊	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	7	
業務支援隊 5次警員	113	0	74	26	0	27	5	0	5	1	0	1	0	0	1	113	0	0	0	以下9名 113名中113名でW(1.4名) KW(2.4名で) PA(1.31名で) 合計(同上)
業務支援隊 4次警員	103	0	0	25	0	0	5	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	103	4名支、日本帰国 1.31.4名支予定解除
合計	1144	0	582	51	29	10	0	5	8	0	6	2	0	1	0	139	742	0	103	456

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む

本日のTV電話使用者数:0名、FOMA使用者数:49名(第8次群TV電話合計:0名、FOMA合計:3007名)

装備の現況(車両等)

		車 両																計		
		小 型	中 型	救 急	軽 甲	高 機	W A P C	業 4	マイ ク ロ	施 設	水 タン ク 車	燃料 タン ク	冷 凍 車	セ ミ ト レ	大 型	特 大	浄 水 セ ット		重 レ ッ カ	溶 接 車
IQ	サマーワ	13	10	2	43	19	6	1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	183
	シャイバ																			
	バスラ					1														1
	タリル																			
	バックダット																			
	計	13	10	2	43	20	6	1	22	7	5	4	4	29	9	4	2	1	2	184
KW	キャンプVA	1			3	1	1	2	1					8						17
	キャンプ フリフジャン																			
	計	1			3	1	1	2	1					8						17
	総計	14	10	2	46	21	7	2	22	7	5	4	4	37	9	4	2	1	2	201

装備の現況（武器）

		武器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマーフ							
	シヤイバ							
	バスラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンプVA							
	キャンプアリフジャン							
	計							
総 計								

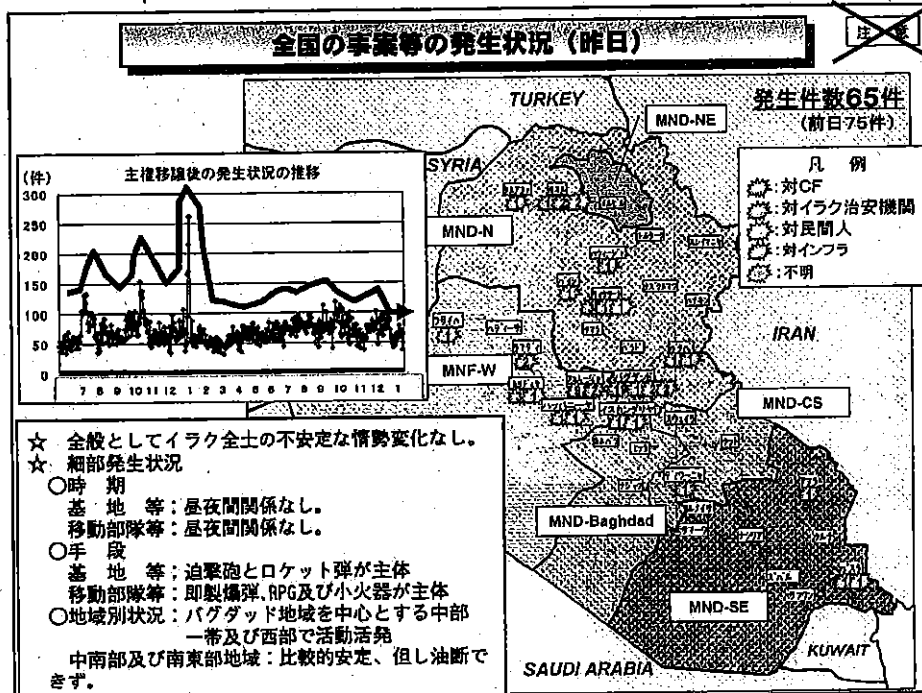
装備品等の可動・不可動の状況①

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	201	199	1	1	冷凍冷蔵庫×1 エンジン不良	未使用:WAPC×1(CV) 部品待×1
酷暑用冷凍冷蔵庫	8	5	0	3		
コンテナスキャナー	2	1	0	1		
エアコン	857	634	0	23		
発動発電機(6kw)	95	21	22	52	レギュレータ等不良×17 オイルセンサー不良×4 シリンダ破損×1	部品待×22
発動発電機(25kw)	67	39	11	17	ガバナ等不良×10 ノズル不良×1	部品待×11
発動発電機(60kw)	59	48	3	8	噴射ポンプ不良×2 ピストン不良×1	部品待×3
発動発電機(180kw)	17	16	1	0	ガスケット損傷×1	部品待×1
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	定期整備×1	後送中×1(オランダ)

装備品等の可動・不可動の状況②

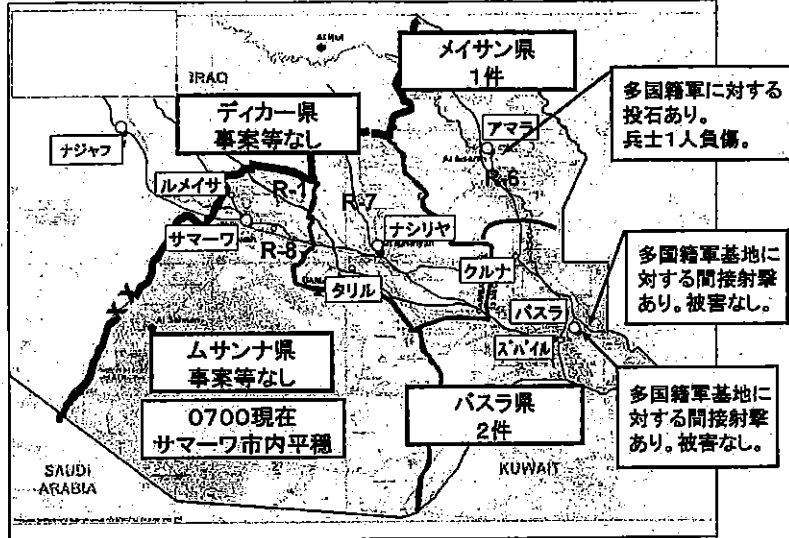
項目		総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考
浄水セット	富品	4	3	1	0	制御盤不良×1	部品待×1
	民生	2	2	0	0		
遠距離監視装置	昼用						
	夜用						
近距離監視装置							
近距離暗視装置(V7)							
微光暗視装置(V3)							
空中監視装置							

全国の手案等の発生状況(昨日)



事案等の発生状況（28日0700～29日0700）

注



ルメイサにおける新しいサドル派事務所-1

注

【新サドル派事務所の開設】

○1月23日完成式典

- 1445頃、約400名が集合 武器の所持も確認
- 1500、式典開始 参加者約600名 武器の所持も確認
- アドナン師を含む6名の シェイクが参加

注:アドナン師は、ルメイサに おけるサドル派の代表

- 式典会場(新サドル派事務所) 周辺の道路は閉鎖されていた。 式典終了後は、平穏を取り戻し ており、問題は確認されなかった。

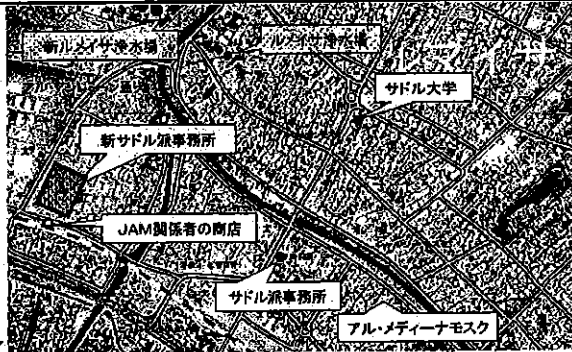
○式典における主要発言内容

- 故サーデク・サドル師とムクタダ・サドル師の偉業を讃える。
- 多国籍軍の占領に反対する。
- サドル派とイスラムに敵対するものは、排除する。

※日本隊に対する反対や中傷は確認されなかった。

○関連情報

- 24日頃、新事務所前の路上に米国旗とイスラエル旗が描かれたが、26日現在、雨水と泥で確認 できない。
- 旧事務所についても人の出入りが確認されている。

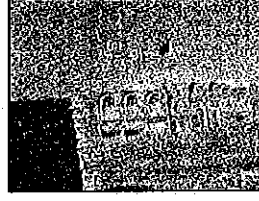
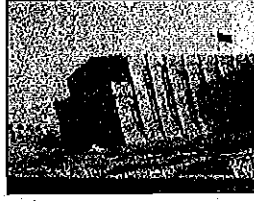
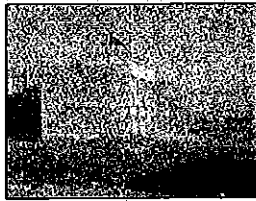


ルメイサにおける新しいサドル派事務所ー2

<評価>

○ルメイサにおけるサドル派関連施設には、新サドル派事務所、サドル派事務所、アル・メディーナモスク、サドル大学、JAM関係者の商店等がある。
新サドル派事務所が完成したが、これまでの事務所にも人の出入りが確認されており、引き続き、使用される可能性がある。

○新事務所完成を受けて、今後のルメイサ市におけるサドル派の動向について、引き続き注目。



(1月3日現在、工事中の段階の写真)

金曜礼拝(1.28)ー1

【アル・グレイブモスク】(サマーワ、サドル派)

○説法者:ギジ師(約1000名)

○説法内容:

- 英軍によるサマーワサドル事務所への攻撃に対して怒りを感じる。
同様の攻撃がバスラとアマラで実施された。
 - イスラム社会を破壊する音楽や映像を販売している店を倒す。
 - アル・グレイブモスク周辺の店を脅して閉店させる。
 - シーア派の一大行事であるアシュラについて
- ※自衛隊関連の発言なし。

【マムラハモスク】(サマーワ郊外、サドル派)

○説法者:ムハラムディ師(約900名)

○説法内容:

- アシュラの直前までトレーニングを行い、清い心で静かにアシュラを迎えよう。
 - ヨーロッパで行っている淫らなテレビ放映や、ビデオ、CDショップをなくし、イスラム社会を変えていこう。そのためには、爆弾等の強硬な手段に頼ることもある。
 - 多国籍軍の中でも、オランダはとてども良く、我々とも良好な関係にあったのに、英軍は信頼できない。英軍は、どうしてサマーワ市内をパトロールしているのか。
- ※自衛隊関連の発言なし。

金曜礼拝(1. 28) - 2

【アル・メディーナモスク】(ルメイサ、サドル派)

○説法者: アドナン師、ラヒーム・アリザリジャウイ師(約1000名)

○説法内容

- テロリスト批判、多国籍軍批判
 - ナジャフのサドル事務所とムクタダ・サドルを支持する。
 - イラク政府と多国籍軍は、サドル派の武力を恐れているのではなく、政治的台頭を恐れている。
 - アシュラで一番模範的なグループを目指す。
- ※自衛隊関連の発言なし。

【アル・マフディモスク】(サマーフ、サドル派)

○説法者: ザーメリー師(約150名)

○説法内容:

- イスラム教やアシュラについて
- ※自衛隊関連の発言なし。

【サマーフ・モスク】(サマーフ、サドル派)

○説法者: アフディ師(約300名)

○説法内容

- アシュラについての説法、支援者への感謝
- スンニ派への攻撃的発言

金曜礼拝(1. 28) - 3

【ムルタダモスク】(ヒドル、サドル派)

○説法者: アラサディ師(約300名)

○説法内容

- イスラム教、アシュラ、イマム・フセインに関する事項
 - 行政に関する不満
- 「なぜ、政府は壊れた家や道路を直してくれないのか。」
「水も仕事もないのに、なぜ何もしてくれないのか。」
- ※自衛隊関連の発言なし。

<評価>

○今次礼拝は、アシュラを控えて、イスラム教及び宗教に関する発言が多くなされた。

また、英軍に対する批判も確認されたが、攻撃的なものではなかった。サドル派と多国籍軍の間で交渉が続いているとの情報もあり、両者の間の緊張は、一時的に緩和する可能性がある。

また、サドル派の政治路線追求を示す発言も確認されている。

○行政に対する不満も一部表明されており、県政レベルでの政治におけるサドル派とシーア派政党、サドル派民兵とBADR組織(SCIRIの軍事部門)間の緊張について、引き続き注目していく必要がある。

イラク全土の全般情勢評価 (1. 29)		
(1月14日の報告以降、変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に中北・西部において多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続 ●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性 ●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性 	8/26追加 8/8追加
スンニ派 過激派	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安機関・移行政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサー・スンナとザルカウィGpが共闘の可能性 ●ザルカウィ関連Gpの活動が活発化 ●シーア・スンニ宗派間対立を企図したテロ発生の可能性 	9/15追加 9/1追加
FRE	●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける	
国際テロリスト	●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施 ●新政府において所望の閣僚ポストを獲得できなかった場合、サドル派が強硬路線に転換する可能性 	1/14修正
特異事項	●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引)	9/1追加

イラク南東部の全般情勢評価 (1. 29)		
(1月14日の報告以降、変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定→アマラ、バスラで多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃発生 ●メイサン県に存在すると考えられていた即製爆弾攻撃ネットワークがバスラ県に活動を拡大した可能性 ●バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性 	8/17追加 9/27追加 9/20追加
スンニ過激派 国際テロリスト FRE	<ul style="list-style-type: none"> ●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●バスラ・メイサン県で即製爆弾増加傾向 	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 ●新政府において所望の閣僚ポストを獲得できなかった場合、サドル派が強硬路線に転換する可能性 ●地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性 	8/28追加 1/14修正 1/14追加
MSR-ASR	<ul style="list-style-type: none"> ●即製爆弾・車両爆弾、友軍相撃、ロードバイク、子供飛出し ●カージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生 ●移動中のコンボイに対する車両爆弾の可能性 	7/23追加 7/22追加
タリルAB	●空港への曲射撃及び離着陸航空機に対する攻撃に警戒	9/30追加
トレンド	南東部における電波指令式即製爆弾が増加	

ムサンナ県の全般情勢評価 (1. 2. 9)

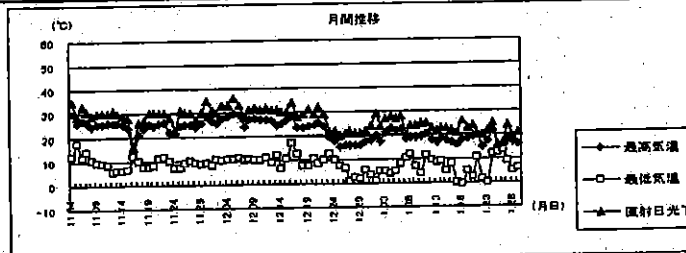
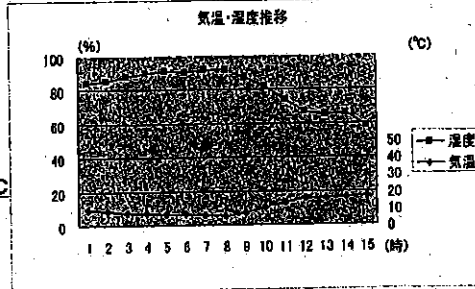
(1月23日の報告以降、変化なし)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●比較的安定、しかしながら油断は出来ず ●知事、前評議会議長の動向等、政治情勢は依然流動的 ●イラク治安部隊の治安維持能力が向上しつつある。 	9/30修正 10/9追加
スンニ過激派 国際テロリスト	●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための存在あり	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●新政府において所望の閣僚ポストを獲得できなかった場合、サドル派が強硬路線に転換する可能性 ●地方選挙に向けサドル派民兵とバドル組織の緊張が高まる可能性 (サドル派民兵が支持獲得のため反多国軍姿勢を強める可能性) ●サドル派民兵はねっかかりが宿営地に対する曲射攻撃などの反多国軍行動をとる可能性 ●英軍、サドル派民兵双方の今後の動きによっては、サマーワ市の情勢が一時的かつ部分的に不安定となる可能性 	1/14追加 1/14追加 1/14修正 1/23追加
部族関連	●宿営地警備等の雇用の増大を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報	7/7追加
デモ関連	●ムサンナ県の政治情勢は依然流動的であること、雇用問題、燃料値上げ等により民衆の不満が高まる可能性があることから、デモ発生の可能性は依然存続。	12/20修正

現地の気象情報

報告内容

明日の日の出 : 0652
 明日の日の入 : 1732
 明日の月齢 : 0.7
 明日の月出没 : (出0739~没1835)
 本日の天候 : はれ
 本日の気温 : 最高16.2°C最低6.0°C
 : 最高21°C(直射日光下)
 本日の平均湿度 : 76.4 %
 本日の風速 : N4~6m/s



コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J1	隊長の行動	0630	隊長報告	
		0650	集合写真撮影	
		0700		
		0730	隊朝礼	
		0740		
		0810	J任務総括等について (簡接)	
		0820		
		0820	宿営地内勤務	
		1435		
		1445	活動命令(減)仰決	
J2	業務支援隊長の行動	1535	デイリーミーティング	
		1605		
		0715	隊朝礼	
		0730	隊朝礼	
		0740		
		0740	宿営地内勤務	
		1535	デイリーミーティング	
J9	情報収集(POLAD会議参加)	1605	隊デイリーミーティング	
		1625		
J9	情報収集(POLAD会議参加)	未定	バスラAB 発	英軍ヘリ
J9	情報収集(POLAD会議参加)	未定	宿営地 着	
Jx	TFMとの共同訓練(MEDEVAC訓練) (在空間の患者看護訓練) (上位レベル医療機関への患者搬送訓練)	別示	キャンプ・スミッティ 発	英軍ヘリ
			キャンプ・スミッティ 着	(S×2の一部)
			宿営地 着	

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J201	GRF			
J202	GRF(予備)			
S6☆	後援隊員配置	0530~ 1130~ 1930~	宿営地→運河→機位駐→宿営地	
S11☆	警備		警備	
S12☆	浄水活動(運河)	0730~1000	大量取水システム点検・運転	LAV(HS)×1
S13a	宿営地内工事・作業	0800~1530	宿営地給水	
S13b		0800~1530	ゴミ回収	
S13c		0800~1530	尿尿取り	
S13d		0800~1530	冷凍冷蔵コンテナメンテナンス	
S13e		0800~1530	環境維持作業	
S13f		0800~1530	新築施設通風工事	中隊(HS)×1
S13g		0745~1930	無人コンテナ換装(第1班)	

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S15	隊主力の行動	0650	集合写真撮影(機支隊除く)	
		0700		
		0730		
		0740		
		0740		
S16	空中監視活動	1530	宿営地内活動	
		30日 0730 ~ 31日 0730		
S x 1	TFMとの共同訓練 [REDACTED]	別示	機形別訓練 [REDACTED]	「編成」に同じ
		別示	総合訓練	
S x 2	TFMとの共同訓練 (MEDEVAC 訓練)	別示	機形別訓練 (医務室への患者受け入れ ヘリトリアージ訓練)	
		別示	総合訓練	

クウェート分遣班	パクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> 第9次群第1班受入 第9次群長表敬対応 装備品交付支援 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整 情報収集 基地群買長ミーティング 	<ul style="list-style-type: none"> 情報要求対応 定例情報収集 トランジション会議等調整 	<ul style="list-style-type: none"> 情報要求対応 各種業務調整 各種ミーティング等 	<ul style="list-style-type: none"> 連絡調整 情報収集

[Redacted]

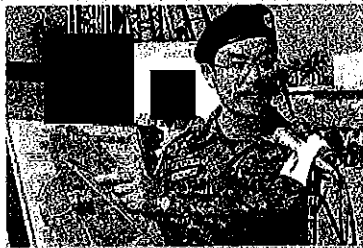
- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項
一いつもどおり、前もって情報をよくとって部隊を行動させよ。

[Redacted]

- 治安情勢:別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [Redacted]
- 群長指導事項
一昨日も言ったが、アシュラの期間の特性、治安状況を踏まえ支援活動の地域、活動時の注意事項等を再度検討せよ。必要があれば今週の活動計画の見直しも実施せよ。

新ルメイサ浄水場起工式

別紙第1



事業について説明を行う東支隊長



タンク予定位置に机打ちを行う東支隊長



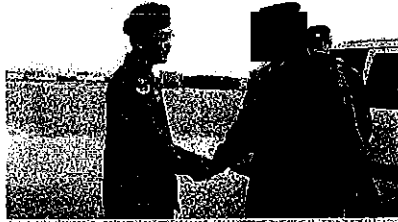
地元メディアによる取材の様子



役務業者に帽子を贈呈する施設隊長

業支隊長、治安最高責任者(ナジム大佐)と懇談

別紙第2



ナジム大佐と握手する業支隊長



懇談の様子

区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED]、バグダッド及びモスルは [REDACTED]、ラマディは [REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	情報収集及び連絡調整
4 明日の予定	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) 基地群曹長ミーティング
5 その他(備考)	なし



バグダッド 日誌 (1月29日)

○リクエストは？

- ・ 第5次バグダッド連絡班全員が芸達者我自認しているが、その先陣をきって、■■■■が音楽バンドの練習に参加する約束をしたので、練習見学にキャンプ・ヴィクトリー内の教会に出かけた。
- ・ 教会で音楽バンドの練習をするということに多少の違和感を感じたが、先日、バンド・マスターの米陸軍少佐と昼食をともにする機会があり、「時代の流れで、皆が楽しめる様に伝統的な音楽から最近の音楽まで演奏している。」とのこと。
- ・ 練習初日、教会に行ってみると軍僧(Chaplain)が厳かにお祈りの儀式をしており、やや場違いな雰囲気...とまどいながらも■■■■とともに中に入り席に着く。すると目の前にバンドのメンバーが、にこやかに賛美歌等を華麗に演奏しはじめた。2-3曲の演奏が終わる、軍僧が「リクエストはないですか？」と皆に尋ねている。私は「ピリー・ジョエルでもリクエストしようか？」と考えていると、前に座っていた女性兵士が「私の部隊の仲間がコンボイ移動中に襲撃を受け行方不明になりました。」と言い、その他にも「任務中の部下が攻撃を受け、意識不明の重体です。」私の16ヶ月になる娘がドイツで心臓のバイパス手術を受けます。」と次々にリクエストしている。そう、軍僧は、神にご加護を祈る際のリクエストを聞いていたのだった。
- ・ 異国の地で家族を思い、バグダッド市内で実際に犠牲を払いながら尊い任務にあたったいる将兵の祈りのリクエストを聞きながら、「イラク復興支援に参加している日本隊の安全と任務完遂」を祈った。
- ・ この日は練習初日ではなく、バンドの初披露の日であった。リクエストについてもとんだ誤解をしており、自らの英語能力に赤面する思いだった。「日曜日の朝6時から教会でやることは？」と考えればすぐ分かることであつた。
- ・ ちなみにバンド練習は、水曜の夜に実施しているとのことである。

■■■■

バスラLO日々業務報告(1月29日1900)	
区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [redacted] [redacted] (警戒態勢) : [redacted]
2 特記事項	(1) [redacted] (2) [redacted]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びPIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [redacted] (3) 定例会議への出席 : 幕僚会議 (4) 菅原室長接遇 (表敬: J7部長、J8部長)
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) POLAD会議 (4) トランジション会議、師団長表彰等調整
5 その他(備考)	

MND-SE管内の状況
[redacted]

バスラ日誌 (1月29日)

- 1 昨日は、POLAD会議(30日)参加のため、政策アドバイザーの[]室長をバスラにお迎えした。午前中の便で調整してきたが、結局1500サマワ発、1720バスラ着の中継点3カ所の便に乗っていただくこととなった。1517サマワ発の通報を受け、夕方にはお迎えできると準備していたところ、予定の時間になってもヘリが来ない。確認したところ、ヘリの調子が悪く、タリルで修理または、別便に乗り換えなければならないとのことであった。結局2200近くに宿舎に入って頂いたが、約7時間に及ぶ移動となり、さぞお疲れになったことと思う。ところが、全くご不満の様子もなく、タリルでは英軍のパイロットが申し訳ないと言っていたこと、ちゃんと食堂まで案内され夕食もとれたことなどを我々に話して頂いた。大変心配したが、さすがに経験豊富(4度目の海外派遣参加と聞いている。)な方だと感心している。本日、早速J7部長[]大佐、J9部長[]大佐と懇談していただいた。[]
- 2 昨日、[]室長と群警備中隊の[]をJHF(ヘリポート)で出迎えた。20~30分おきにヘリは来るのだが、肝心の2人はなかなか来ない。タリルでヘリに不具合が生じたため遅れが生じたようだが結局予定より5時間も遅れ2150にバスラに到着した。おみくじによくある「待ち人來ず。」の心境だったが、[]室長と[]の方が大変だろうと思い待つのもLOの仕事だと思った。
 昼休みにタバコをすっていたらJ2スタッフのNAVYの将校が、「君タバコ吸うんだ。体に害を与えるからやめた方がいいよ。僕は、体のために吸っていないよ。」とタバコの箱に書いてある警告文のようなことを言われた。[]
- 3 J3で勤務していると階級構成に驚く。幹部が[]に対して、下士官がたったの[]で英軍の下士官となると[](残りの[]は米軍)である。今日も雑務を頼むと「No Problem, sir」と言って笑顔で実施する。幹部[]からの雑務を笑顔で一挙に引き受けるその下士官に頭が下がる。[]
- 4 天気晴れ。バスラ6名極めて健康。[]



スミッティLO日々業務報告(1月29日)

区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし [] Threat Level []
2 特記事項	サマワ市内の治安情勢等に関して重点的に情報を収集中
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマワ市内の治安情勢等、デモ情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 日豪共同訓練関連、明日以降の豪軍支援要請関連、[] 整理関連、豪軍によるサマワ駐屯地訪問関連、CIMIC関連、スポーツ交流関連(2月3日) (3) 各種ミーティング等 英・豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の英・豪軍等の射撃 Range1 英軍(小火器) 0730~1700

クウェート分遣班業務報告		18. 1. 29
全 般		
<input type="checkbox"/> 国内情勢等： <input type="checkbox"/> 人員・武器等異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告：所屬人員24名、事故人員0名、現在員24名、中輸乗×1名、PR×1名	<input type="checkbox"/> 天候：晴れ <input type="checkbox"/> 気温：温度計故障の為計測不能	
本日の行動		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> 第9次群受入準備 <input type="checkbox"/> 装備品回収・交付準備		
明日の予定		
恒常業務・その他		
<input type="checkbox"/> 第9次群1波キャンプ・バージニア受入(第9次群138名、研究員1名) <input type="checkbox"/> 第9次群長教等対応(空自司令、キャンプ・バージニア司令) <input type="checkbox"/> 第9次群1波への装備品交付支援		
その他(教訓・要項事項等)		
<input type="checkbox"/> キャンプ・アリアジャン米海軍病院：8次群要員×2名(1月26日から1名入院中、付添者×1名)		

クウェートLO日々業務報告(1月29日1900)					
区分	内 容				
警戒態勢等	警戒レベル：国内にテロ情報無し。 日本国外務省渡航安全情報(危険情報)：クウェート全土「十分注意」(N/C)				
特記事項	なし				
本日の業務	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">大 使 館</th> <th style="width: 50%;">CFLCC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> (1) 連絡調整等 政府専用機受け入れに関する調整会議 空自特別航空輸送隊担当者及びJAL担当者 (2) 情報収集 ア 情報資料 特記事項なし イ 新 聞 特記事項なし </td> <td> (1) 連絡調整等 後送患者(8次群)の状況を掌握 ・症状は若干快方に向かう ・本人は、サマワへの復帰又は8次群本体との帰国を希望(早期帰国しての治療は希望しない。) (2) 情報収集 特記事項無し </td> </tr> </tbody> </table>	大 使 館	CFLCC	(1) 連絡調整等 政府専用機受け入れに関する調整会議 空自特別航空輸送隊担当者及びJAL担当者 (2) 情報収集 ア 情報資料 特記事項なし イ 新 聞 特記事項なし	(1) 連絡調整等 後送患者(8次群)の状況を掌握 ・症状は若干快方に向かう ・本人は、サマワへの復帰又は8次群本体との帰国を希望(早期帰国しての治療は希望しない。) (2) 情報収集 特記事項無し
大 使 館	CFLCC				
(1) 連絡調整等 政府専用機受け入れに関する調整会議 空自特別航空輸送隊担当者及びJAL担当者 (2) 情報収集 ア 情報資料 特記事項なし イ 新 聞 特記事項なし	(1) 連絡調整等 後送患者(8次群)の状況を掌握 ・症状は若干快方に向かう ・本人は、サマワへの復帰又は8次群本体との帰国を希望(早期帰国しての治療は希望しない。) (2) 情報収集 特記事項無し				
明日の予定	<table border="1" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td style="width: 50%;"> (1) 連絡調整等 9次群第1波受け入れ支援 (2) 情報収集 </td> <td style="width: 50%;"> (1) 連絡調整等 (2) 情報収集 </td> </tr> </tbody> </table>	(1) 連絡調整等 9次群第1波受け入れ支援 (2) 情報収集	(1) 連絡調整等 (2) 情報収集		
(1) 連絡調整等 9次群第1波受け入れ支援 (2) 情報収集	(1) 連絡調整等 (2) 情報収集				
その他	なし				